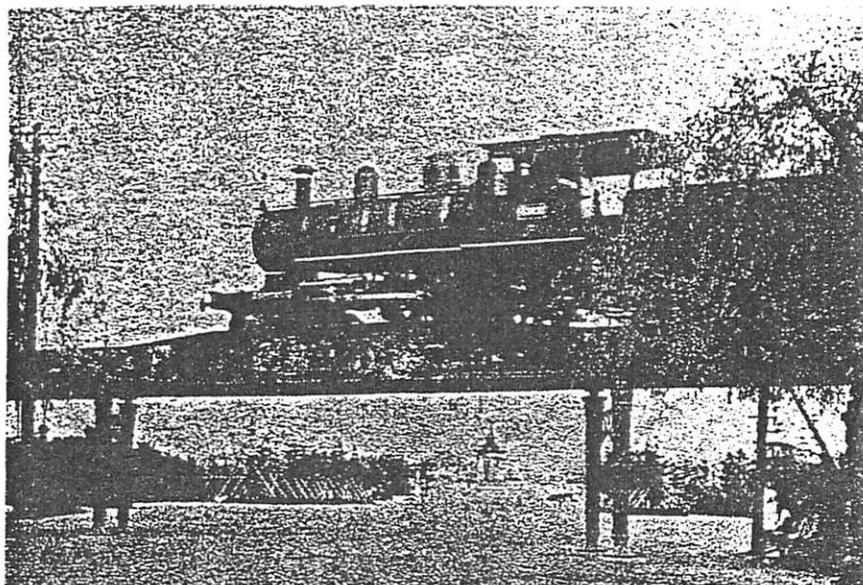

昭和こじょう会便り

22号

2000年12月



鶴舞公園正面入口ガード上を走る
アメリカ製6150型蒸気機関車 [明治44年]

発行 / 名古屋市高年大学鯉城学園…昭和鯉城会

----- 天気に関する「ことわざ」 -----

11期 美術学科 林 功三

高年大学在学中は天文気象研究クラブで、卒業後は「すばる会」で気象と宇宙の勉強をしています。

勉強といえば聞こえは良いようですが、毎月1回名古屋市科学館のプラネタリウムの見学会では星座の解説が主体で、座り心地の良さも手伝ってつい「うとうと」と眠気に誘われることがしばしばです。

明治17年(1884)に日本で始めて天気予報が発表されましたが、昨今の情報化時代では天気予報は防災その他、生活全てにおいて深い係わり合いを持つ大事な情報の一つになりました。

ドイツのゲーリッケ(1660)という人が気圧の変化が天気に関係することを発見しましたが、これが科学的に天気を予報する始まりともいわれます。いまでは気象衛星から常に精度の高い情報が得られるようになり目覚ましい進歩を遂げました。気圧が低くなるといつも雨が降るわけではありませんが、一般的には天気が崩れるときには気圧が下がることはご承知の通りです。

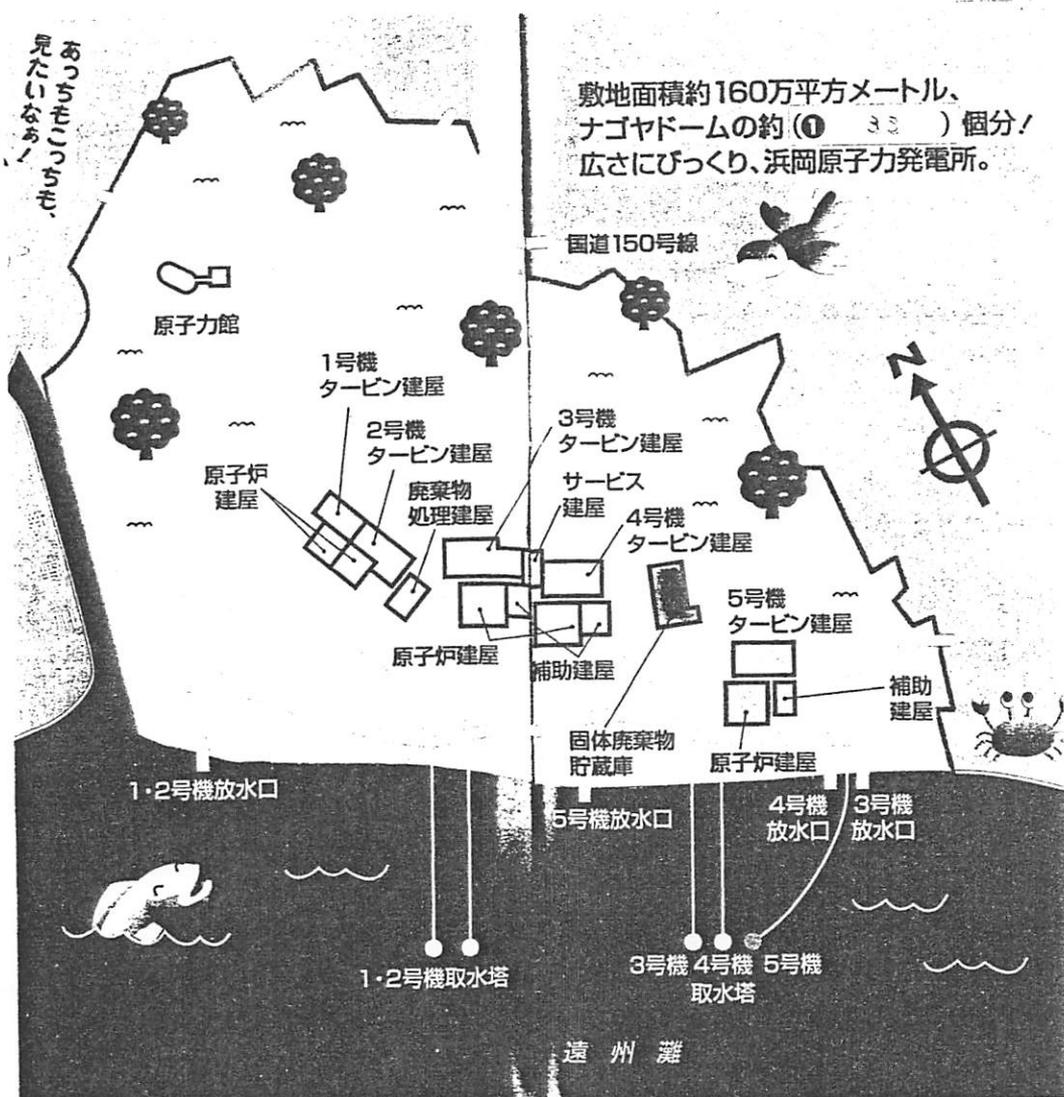
ここで昔から言い伝えられている天気に関する「ことわざ」を少し書いて見ました。天気に関する「ことわざ」は全国で随分沢山あり、私たち子どもの頃には親から聞かされた記憶があります。これは先人の生活の知恵と唯一の情報として重宝がられたものと想像します。他愛のないようにも感じますが、今の時代でも通用する内容と思います。

- ◆ 茶碗のご飯粒がきれいにとれると雨、つくと晴れ
- ◆ 遠くの音が聞こえるようになると天気が悪くなる
- ◆ 子どもが騒ぐと雨
- ◆ 櫛がとおりにくい時は雨の前兆
- ◆ スズメが朝早く囀るときは晴
- ◆ 朝遠くの山がはっきり見えればその日は晴
- ◆ 猫が草を食うと雨
- ◆ スズメが水を浴びると晴
- ◆ 月の横に星あるときは晴天
- ◆ 鳥類が木の高所に巣を作る年は洪水あり
- ◆ 雷が鳴れば梅雨明ける
- ◆ 朝茶がうまいと天気がよい

(天気のしくみ 天気予報ことわざ辞典より)

12期生活A 松下正

応募3回で中部電力浜岡原子力発電所見学の機会を得た。本発電所は中電唯一のもので、三重県芦浜での建設計画は住民と知事の反対により頓挫している。



9月11日(月)地下鉄植田駅前よりほぼ満員のバス2台で出発した。東名菊川ICを出て南下、御前崎灯台近傍の食堂で昼食後すぐ西の遠州灘に面する原発へ入った。設備概要は次ぎの通り。

	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機
	運転中	運転中	運転中	運転中	建設中
形 式	沸騰水型軽水炉 (BWR)			同左改良型	
出力 標	54万	84万	110万	113.7万	138万
着 工	S46.3	S49.3	S57.11	H1.2	H11.3
運転開始	S51.3	S53.11	S62.8	H5.9	H17.1 予定

観光バスからマイクロバスに乗換え、原子炉への道路の途中の関門は二重で不審車の高速通り抜けを防いでいる。炉の入口では空港同様の金属探知機やIDカードで一人ずつの確認（今日は全員ではなかったが、事前に申込書で調査した由）があり、テロやジャック防止対策は厳重である。また入場専用の靴下と靴があり放射能汚染対策も徹底している。本日は4号炉に入り、炉心直上に立ったり、中央制御室に入ったりして見学を終えた。外から建設中の5号機を遠望し、原子力館に立ち寄って帰途についた。原子力館は原発PR用の建物で実物大の各種模型があり外部から自由に出入り可能である。

さて、原発問題は地球上の全人類にとって重大な問題である。ドイツ・スエーデン等では脱原子力が決定しているが、代替エネルギーはまだ確立していない。太陽光・風力・燃料電池などすべてコスト高で見通しは暗く、化石燃料は地球温暖化を招く。日本で37%に及ぶ原子力発電を代替するのは夢のような話で、結局は省エネルギーの実行しかないと思われる。

現地では雨は降らなかったが、東名三好ICを出る頃から怪しい雨空になり、下車した地下鉄原駅近傍から駅へ入る数分で既にずぶ濡れになり、川名駅を出ようとした6時30分頃には駅周辺は歩道は池、車道は激流で自宅までの徒歩10分はとても無理と判断した。再び地下鉄で枳中へ戻り1番出口すぐ前の千種駅行バスを待つこと約10数分、水が少ない歩道を横切って飛び乗った。車道はやはり川同様に小さい車は立ち往生、バスは間を縫って大きな池のような川原通7丁目の交差点を通り、宮裏バス停に着いたのが7時30分、幸い水かさは少なくずぶ濡れ数分で帰宅出来た。地下鉄浸水やら各地の床上浸水などの災害のニュースを見て、100年に一度という物凄い豪雨の経験をしたものと実感した。被災者には改めてお見舞い申し上げます。

.....長久手古戦場と色金山の周辺の史跡.....

(歩こう会 9月)

13期園芸 田中龍夫

本年度3回目の歩こう会は、9月20日地下鉄藤ヶ丘駅に集合。総員13名は名鉄バスに乗車。長久手町に向った。戦国時代の史跡や文化財など見どころも多い古戦場から色金山まで3時間コース。

今回は、長久手町教育委員会をとおして、郷土史研究会の方に案内をしていただきました。古戦場・文化財マップを戴き、なぜ、この地が戦いの舞台になったのか、ガイドさんの説明によると天正12年(1584)豊臣・徳川両軍が小牧山と犬山を中心にして持久戦となった戦況を、打開するため岡崎奇襲を計画した豊臣秀吉の軍を徳川家康の軍が追撃して破った主戦場が偶然にも、長久手の山野でくりひろげられた。この戦いは、小軍の徳川が大軍の豊臣に勝った戦いとして有名である。現在、熾烈な合戦となった跡地には、戦いで亡くなった者をまつる塚が築かれ、昭和14年には、国の史跡に指定され、縮景で再現した古戦場、郷土史料室には当時の資料が展示されている。

緑地帯の古戦場をあとにし、次の目的地、色金山歴史公園に向かう。

麓 伝説によると合戦後、敵味方の死体山となし、惨憺たる情景であったので、安昌寺の雲山和尚が村人とともに死体を集め厚く葬った。明治43年(1910)建立の首塚碑がある。

色金山 天正12年の役の折、北から進軍してきた徳川家康が軍をとめ山頂の巨石を床几がわりに四方を展望して軍議したという。今では雑木が繁り、展望に堪えないが、一昔前までは、四面一望の佳影として、人々に親しまれた。

曹洞宗赤津雲興寺 末寺。創建は明らかではないが、天正13年(1585)岩崎城主丹羽氏次が田畑を寄付して再興したと伝えられる。寺には、床几石銘、首塚銘など合戦に由来する資料が残されている。

本日はまだまだ残暑がきびしく、高低のあるコースであったが、会員相互の親睦を深め、有意義な「歩こう会」であった。

今後も大勢の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

-----『八事秋まつり 森林浴ウオーク』に参加して-----

12期生活A 松下正

10月9日体育の日に恒例の“八事秋まつり”が開催、これは「昭和区区民まつり」の秋季大会で、春季に続く第2回目の区民まつりとしては市内でも数少ないとの事であります。前夜から当日早晩まで雨模様のため開催が危ぶまれましたが、決行の通知が会長・副会長から会員に徹底されたので当日の会員参加者は約30名になりました。

オープニング式典後、森林浴ウオーキングに出発、雨によるコースの荒れが心配されましたが、天候の急速な回復によって全く不都合はなく絶好のコンディションになりました。例年通り歓談しながら3.5kmのコースを約40分で心地よく汗をかき完歩しました。最後に完歩賞の模擬店金券をジュースに替えてのどを潤し流れ解散となりました。

毎年春秋2回の森林浴ウオークは私共にとっては丁度適度の運動ですので、健康のために出来る限り多数の会員の参加を望みます。また、この他にも色々な催しが興正寺境内一帯で行われますので、ご家族連れでの参加にも適していると思います。

-----俳句-----

2期文化 鬼頭秀三

走り梅雨なれてあばれて命喰う
早風呂の雨蛙聞き策を練る
炎昼やよう変を追う渦の色
展覧会ひらがな文字の涼しさよ
糸とんぼ明治生まれの筆もつ手
ねずみ花火逃げ足泣かす音をあげ
老鶯の忽然となく奥飛驒路
河骨や映す白雲奔放に
この朝も心洗いに蓮の池
書きとめてまた書きとめて露の道

12期美術 大鹿文義

11月9日鯉城会区会
第4ブロック（昭和・
名東・天白・緑）の合
同研修会が、御器所ス
テーションビル内のシ
ルバー人材センター大
会議室で開催した。

現在“老人保健施設
みどり”の理事で施設
長の土岡弘通先生（前
愛知医科大学教授・村
属病院長）をお招きし
て『老人保健施設の現
状』というテーマで講
演をしていただいた。



講師 土岡弘通先生

私たちの世代の者にとって、一番の関心事は毎日を“健康で過ごす”こと
と思う。人は誰でも老いると程度の差はあるが療養や介護が必要となってく
る。

今や急速に高齢化が進み「寝たきり」や「痴呆」など介護を必要とする老
人はこれから更に増加する。それに伴って、その何倍もの「介護する人」が
必要となる。介護はもう特別な人に生ずる問題ではなくなってきた。老人に
とって住み慣れた家で家族と共に在宅介護できることが、本人や家族にとっ
て大きな喜びであり理想的といえる。しかし、介護する側は家庭内の介護態
勢が十分でなかったり、正しい知識や介護のコツを知らずに、心身共に行き
詰まってしまうケースが少なくない。

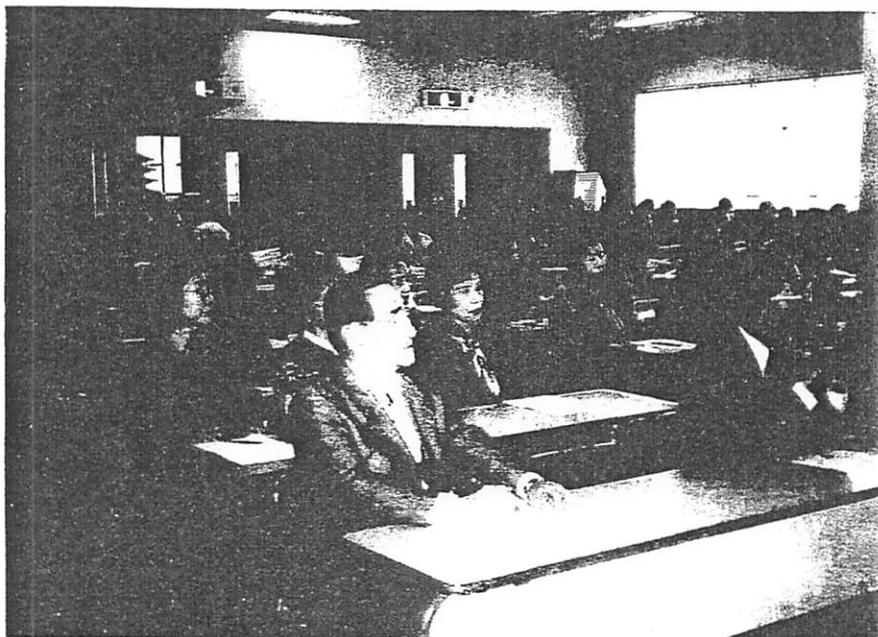
老人保健施設はこのようなケースでの入所療養介護や在宅療養中の通所
（通い）介護を行う施設です。即ち総合病院や長期療養型病院の医療施設と
特別養護老人ホームなどの養護施設との中間に位置付けられている。そして
入所定員に対して、医師・薬剤師・看護婦（士）・療養福祉士・栄養士が法
で定められた人数が常駐している。

講演は入所できる人の判定基準から、日常の看護や介護の具体的な内容、

さらに入所者間の人間関係から生ずるトラブルや入所者の家族の心得・愛情など平易に分かり易かった。

特に本年度から介護保健がスタートした。これから我々が幸せなシルバーライフを送るために有意義な講演であった。本紙上で改めて土岡先生のお礼申し上げます。

今回は地元昭和をはじめ、名東・天白・緑の鯉城会から約100名が参加、熱心に聴講し盛況であった。



真剣に聴講している参加者達

1 2 期生活 A 滝本一男

7月20日に資料を受け取り、それによると鶴舞公園が出来てから現在まで明治・大正・昭和・平成と四代の時を経て整備されかつ変遷してきました。明治6年(1873)太政官布告によりわが国の公園制度が始まり、名古屋市においては明治17年(1884)年頃から大公園の機運があったが熟さなかった。しかし明治38年(1905)から始められた精進川(新堀川)の改修工事による土砂が余ることから、当時愛知郡御器所村の田畑(現在の公園あたり)を埋め立て、公園を造る事になりました。明治42年(1909)に名称を鶴舞『つるま』公園と定められました。翌明治43年(1910)3月16日から90日間『関西府県連合共進会』(博覧会)が盛大に開催されました。

中央線高架下の正面から噴水塔を挟み奏楽堂まで両サイドに植えられたのがヒマラヤスギです。その数60本。当時からのものは現在10本程度で、後は2度の台風[昭和9年(1934)室戸・昭和34年(1959)伊勢湾]や落雷などで倒れ、植え替えられています。

共進会后そこで使われた噴水塔・奏楽堂などを取り込み公園として整備が進められ、大正7年(1918)には以前からあった大須私営浪越動植物苑から寄贈され鶴舞動物園として開園。昭和12年(1937)当時では東洋一といわれた東山公園が完成、そこに移転しました。

図書館も大正12年(1923)に開館。戦災で焼失しましたが、昭和27年(1952)に再建され、更に昭和59年(1984)に近代設備充実の新館に改築、公立図書館ではわが国有数の蔵書数を誇っています。

普選壇は大正14年(1925)普通選挙制度の成立を記念して昭和3年(1928)に名古屋新聞(現中日新聞)より寄贈された野外劇場で『五箇条の御誓文』を掲げたステージがあります。今でも演奏会などのイベントもたまには開かれます。

噴水塔は鶴舞公園の正面広場を飾った建造物で(設計者は奏楽堂と同じ鈴木禎次工学士)永く市民に親しまれてきたものです。これが一時的ではあるが市民の目から消えたのは昭和48年(1973)のことでした。昭和52年地下鉄3号線(鶴舞線)の開通に合わせて築造当初の姿に忠実に復元され、解体から4年を経て再び公園のシンボルとしてお目見えしました。

奏楽堂は昭和9年(1934)室戸台風で大被害を受け取り壊され、昭和12年(1937)から平成7年(1995)まではデザインの異なる奏楽堂が建てられていましたが、平成9年(1997)に築造当時の姿に復元されました。屋根飾にはハーブ、舞台を囲む手摺には『君が代』の楽譜がデザインされています。毎朝こ

の奏楽堂を囲んでラジオ体操に集まる人達があります。昭和41年(1966)頃結成された『鶴舞公園がんばろう会』を中心にする人達で現在も続いて行われております。

竜ヶ池は公園が出来る以前、この辺り一帯は旧御器所村の水田や大根畑が広がる田園地帯で、この池は吹上方面から流れる小川を堰止めて造られた灌漑用の溜池でした。位置としては公園全体を西方に見渡せ、ボート乗りの池として残されものです。桜が咲く頃から若葉の緑が美しく散歩場所として市民から親しまれています。この中心にある浮身堂は空襲による爆風で破壊されたのは昭和20年(1945)3月12日のことです。戦後しばらくは荒れたままでしたが、昭和30年(1955)再建され、この際は高欄が木製であったので同36年(1961)鉄製に改造されました。

胡蝶ヶ池は明治43年(1910)の共進会に合わせて築造された池で、蝶が羽を広げた形をしています。南半分は戦後進駐軍により埋め立てられてベビーゴルフ場になっていましたが、昭和30年(1955)に復元され、その中央には中の島があり「鶴の噴水」が水を吹き上げています。北半分は蓮が植えられており、春ともなれば芽を出し夏には綺麗な花が咲き誇り、我々の目を楽しませてくれます。池の中央(蝶の体の部分)には鈴菜橋が架かっています。

その他、「秋の池」は公園の中で珍しく落ち着いた竹まいの池で秋の紅葉は見事、菖蒲池は初夏6月に開かれる菖蒲祭で有名、道路を隔てて東南の八幡山古墳は直径82m・高さ10mの円墳で昭和6年(1931)に国から指定された史跡。吉田山(現在の野球場)は明治43年(1910)公園が出来る前からの丘陵地、元名古屋区長吉田録在氏の所有地で共進会の折に寄付され貴賓館『聞天閣(もんでんかく)』が建てられましたが、戦争ですべてが失われてしまいました。

公会堂は昭和5年(1930)中川運河の完成、私営バスの運行と並んで、名古屋三大事業の一つとして建設されたルネッサンス様式の建物。戦災は免れましたが、戦後進駐軍が接收使用、昭和31年(1956)市に返還され、その後年々改装されて大ホール(2084席)、4階のホール(780席)、その他各種の集会室・展示室などがあります。名古屋市の人口100万人突破記念として建設されたことも銘記すべきでしょう。

こうして鶴舞公園は幾多の変遷はありましたが、市民に愛されて90年これからも愛され続けることを願うのみです。

[THE SHOWA vol.4 ~歩いて見ませんか昭和区~鶴舞公園]
のマップ作りに携わっていただいた12期生活A滝本一男氏から投稿
していただきました

----- グラウンドゴルフ {名東区×昭和区} 親善試合 -----

毎年恒例の名東区VS昭和区親善試合が10/27(金)名東区本郷公園グラウンドで秋晴の空の下、和やかに開催されお互いの親善が図られました。

	名東区	昭和区
参加者	21名	16名
優勝		春日井正幸(41)
準優勝	鈴木昭博(41)	
ホールインワン	鈴木昭博 吉沢満子 水野幸次 堀田 章 高柳 稔	春日井正幸 後藤林造 大鹿文義

----- 区会からのお知らせ -----

*第4回実行委員会 {10/13(金)} 御器所コミセン

○歩こう会 9/20「長久手」10/9「興正寺」の報告と11/15「中村公園」の計画

○グラウンドゴルフ 10/27 名東区との親善試合

○第4ブロック合同研修会 11/9

○第3回研修会 (10/25 →12/7変更)

○THE SHOWA マップ vol.4「鶴舞公園」完成

○昭和こじょう会便り22号

*第4回役員会 {11/8(水)} 昭和区役所

○歩こう会 9/20・10/9 の報告と11/15の計画

○グラウンドゴルフ 10/27名東区との親善試合の報告

○第4ブロック合同研修会 11/9

○第3回研修会 12/7

*第14回卒業証書授与式

○ H13/14 (金) 鯨城ホール

*平成13年度入学願書受付

○ H13/2/2 (金) ~ 2~14 (水)
(土・日・祝日は受付しません)

*第53回公開講座

○ H13/2/23(金) 10:00 ~11:30 鯨城ホール

「壮年期の運動習慣こそ大切」 中京大学教授 小林義雄氏

*春休みの休刊日

○ H13/3/24(土) ~4/4(水)
(講義室・図書館とも利用できません)

*展覧会

○クラブ作品展

H13/2/6 (火) ~ 2/11(日) 市民ギャラリー

○陶芸学科卒業制作展

H13/3/5 (月) ~3/14 (水) 学園 7F ロビー

○美術学科卒業制作展

H13/2/27(火) ~3/4(日) 市民ギャラリー

*第38回公開学習会

○ H13/2/8 (木) 13:30 ~15:00 鯨城ホール

「心の教育について思うこと」 13期文化A 後藤節子氏

編集後記

20世紀の最終号を発行することが出来ました。今年までのご愛顧を感謝すると共に、21世紀にも倍旧のご協力ををお願いをして、本誌を充実していきたいと念じております

(松下 正 記)

記事ご投稿のお願い

21世紀の1号は来年3月「23号」として発行の予定です。
会員の皆様からの多数のご投稿をお願いします。

466-0856 昭和区川名町4-37 松下 正 ☎751-1377